

日本空港ビルグループにおける新型コロナワクチン職域接種の開始について

この度、日本空港ビルディング株式会社は、6月21日（月）より弊社グループ従業員および協力会社等を含む空港従業員に対して職域接種を開始することをお知らせいたします。

今般のワクチン接種については、接客を中心とした感染リスクの高い現場の空港従業員を優先的に接種することで、効果的に感染防止対策を進めていきます。

従業員がワクチンを接種することにより、従業員の健康維持のみならず、空港をご利用される皆さまへの感染リスク低減の効果を狙います。

羽田空港においては、従来より、新型コロナウイルス感染対策の取り組みを法務省、厚生労働省、国土交通省等の関係機関および空港内事業者と連携し対応に努めており、ワクチン接種以外にも、お手軽にPCR等の検査をお受けいただけるように各ターミナルに検査施設を設置しております。早期発見による感染拡大防止の効果のみならず、旅の訪問先への安心感の提供にもつながるものと思われまます。

日本空港ビルグループは、新型コロナウイルス感染症まん延の早期終結に貢献し、今後も関係機関と協力・調整のうえ、皆さまに以前と同じように国内外へ旅に行っていただけるよう、安心・安全な旅客ターミナル運営に努めてまいります。

【職域接種概要】

- ・ **開始日**：2021年6月21日（月）
- ・ **接種場所**：弊社 事務室
- ・ **対象者数**：約 5,600 人（予定）
- ・ **ワクチン**：モデルナ社製ワクチン